

参考資料

地域内フィーダー系統 事後評価要約版(28年度)

支局 No.	自治体・協議会名		二次評価	※参考付記 第三者評価委員会における 主な委員コメント		
	事業概要					
	自己評価					
岐阜 28	海津市地域公共交通会議 海津市コミュニティバス(デマンド)	海津市コミュニティバス(デマンド)の年間利用者数の目標132,000人 →H28年度実績は、113,117人/年であり、未達成。 減少の要因として、高校生の通学利用や土日運行をしていないことが前年比マイナスとなつた。	平成27年10月にコミュニティバス路線再編と運賃改定、デマンドを開始し、利用者数は減少したものの、要因を分析し課題が浮き彫りになつたことは次につながります。 デマンドの効率的な運用のため、相乗り促進などの取り組みを引き続き実施したり大きくともに、デマンドの新たな利用者たやすくともに、デマンドの新規な確保(住民・観光客)、利用方法の周知などに取り組まれることを期待します。	養老鉄道沿線市町で唯一網形計画を策定しているので、他市町の参考となるようにしてほしい。 8路線から3路線+デマンドに再編した際に逸走したとすれば、目標値の再設定を行う必要がある。 ・コミュニティバスとデマンド交通を区分し、それぞれの利用者数や乗り継ぎなどを整理したうえで課題や対応策を検討していただきたい。 ・養老線との連携を考慮した場合、網形計画の中間見直しを早め、対応策を検討する必要がある。 ・養老線を考慮した場合、海津温泉や海津明誠高校を連絡する路線の充実が必要。 ・前段の取り組み内容やその評価を踏まえた内容を記載していただきたい。		
		《取組》 ①海津市コミュニティバスの企画切符等検討 ②観光客受け入れのためのデマンド交通予約方法等の検討 ③海津羽島線の海津温泉・石津駅への延伸(H28.10月から実施中) ④地域との協働の取組(利用促進に向けた住民意見交換会等の開催) これらの取組をすすめ、生活交通確保維持改善計画に反映し、利用者増につなげていく。				